

【マーケット振り返り】

株式市場は、2026年1-6月期の業績を発表した大手銀行が年間貸出の成長見通しを引き上げたことが好感され、銀行株を中心に買われ、前週末比で上昇しました。

債券市場では、8月28日のジャクソンホール会合での米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言を受けた米金利の上昇圧力、インドネシアでは8月の消費者物価指数（CPI）の前月からの加速や原油高によるインフレ懸念から、週半ばにかけて国債利回りは上昇（価格は下落）しました。週後半は、中東情勢の緊張緩和などから利回りは一時低下に転じたものの、インドネシア10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

為替市場では、週前半はジャクソンホール会合後の米ドル高や原油価格の上昇がルピアの重しとなりましたが、週後半にはFRB高官によるディスインフレに関する発言を受けて米利上げ観測が後退し、米ドルが弱含みルピアには買い戻しが入りました。一方、日銀による9月利上げ観測や為替介入への警戒感から円買いが優勢となり、ルピアは前週末比で対米ドルでは上昇し、対円では下落しました。

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移（2024年12月30日～2026年9月4日）



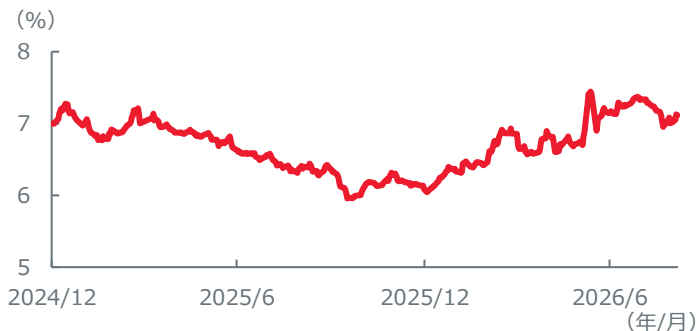
前週

2026/8/28	2026/9/4	変化率
6,518.12	6,636.48	+1.82%

年初来

2025/12/30	2026/9/4	変化率
8,646.94	6,636.48	-23.25%

【債券市場】 インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移（2024年12月31日～2026年9月4日）



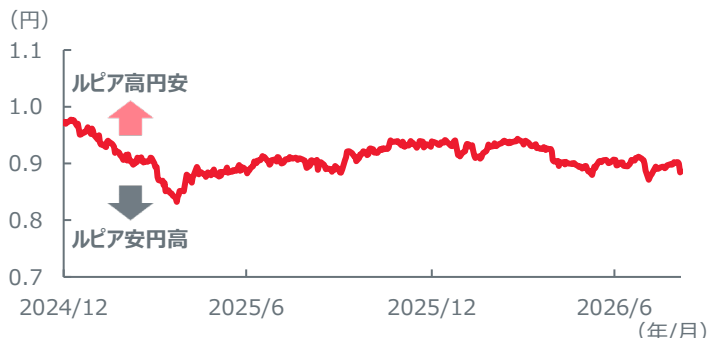
前週

2026/8/28	2026/9/4	変化幅
7.004	7.115	+0.111

年初来

2025/12/31	2026/9/4	変化幅
6.070	7.115	+1.045

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レート*の推移（2024年12月31日～2026年9月4日） *100インドネシアルピアの対円レート



前週

2026/8/28	2026/9/4	変化率
0.9023	0.8861	-1.80%

年初来

2025/12/31	2026/9/4	変化率
0.9390	0.8861	-5.63%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人資産運用業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。